PTSDの復員日本兵と暮らした家族が語る会

隠されてきた戦争被害を学んで

事務委員会　武田　栞乙里

2月17日、「PTSDの復員日本兵と暮らした家族が語る会」を開き、講師には東京より黒井秋夫氏をお招きしました。当日は、講師の資料と事務委員会が作成した資料を配布しました。

これまで隠されてきたPTSDの復員日本兵の貴重な映像やお話を家族である黒井氏から直接聞くことで、中身の濃い内容になりました。自身の父親が加害者であると同時に被害者でもあった事実に気づき、自宅に交流館を設立しました。各地で講演会を開催するなど、自ら行動に移す実行力に感服しました。

また、黒井氏の非暴力で平和を訴える手段としての白旗を掲げる活動に賛同して、自己流の白旗を作成した方々もいると聞きました。黒井氏のリアルで心に響く言葉を直接聞くことで伝わることは多いのだと実感しました。

黒井氏と白旗の平和活動

今回の講演会には、56人が参加しました。参加者の感想には「自分の子どもにも今回の話を伝えて戦争反対の意思をつないでいきたい」という声もありました。多くの方に、PTSDの事実・戦争の悲惨さ・二度と繰り返してはならない思いが伝わった良い機会になったと思います。

私自身も、初めてPTSDの問題に触れ、実際に戦争に参加した人以外にもその家族や周りの人間にも大きな影響があるのだと痛感しました。戦争に行った方が精神的に壊れてしまうことは考えてみれば当たり前で、その治療内容や存在さえ隠されてきたことが異常であり、大変恐ろしいことだと思います。

黒井氏の講演や白旗を掲げる活動を通し、PTSDの問題をもっと知ってもらい、その事実を知った私たちも語り継いでいきます。

※「PTSD」とは、心的外傷後ストレス障害

健友ネット集会　分散会報告

「焼き肉が食べたい」と願った利用者様の看取り

特別養護老人ホーム ちあき・第二 介護福祉士　宮田　久美子

工夫してお肉を調理

紹介する利用者さんは食事、排泄、歩行はほぼ自立しており、歌謡曲、童謡、お肉が好きで笑顔が素敵な方でしたが、看取りの時期を迎えました。本人の以前からの「点滴や管につながれて生きるのは嫌だ」という希望を尊重し、ご家族は「最後まで口から食べられるだけで良いので食べさせてあげたい」と看取りを選択されました。

家族と話し合いながら「本人の希望を優先し、食事を楽しんでもらおう」と本人の嗜好に合わせた差し入れを家族に持ってきてもらいました。カロリーがあり、すぐに食べられて嗜好に合うのはほとんど甘いものでしたが、ある時「何か食べたいものはありますか？」と尋ねたところ「肉、焼肉、ステーキが食べたい」とハッキリ答えてくれました。

その願いを何とかかなえたいと介護士、看護師、管理栄養士が何度も話し合い、サイコロステーキを平らにして1枚のお肉のように焼き上げました。希望をかなえられた時の本人の笑顔と、「いい匂いだね」「おいしい」という言葉が忘れられません。

知って得するケアマネジャー研修会

歯科医療をあきらめないで

千秋病院介護保険サービスセンター、岩倉介護保険サービスセンターちあきは合同で、他法人のケアマネジャーに参加してもらい、お互いに学び成長できる研修会を毎年企画しています。

今年は2月22日に参加者12名で「歯科医療に特別な配慮を必要とする方の治療をあきらめない方法ありますよ」と題し、高齢者や重度障害のある方などの歯科治療について、千秋病院歯科の川瀬ゆか医師に講義していただきました。

講義は誤嚥性肺炎に対する口腔ケアの効果や、口腔機能向上を図ることが介護予防につながっているなどの話でした。事例では、認知症高齢者の方が施設入所して歯科通院が困難になり、2週間程度の入院中に歯科治療を行なった内容などが紹介されました。

後半は5つのグループに分かれたディスカッションを行ない、講義の感想や利用者さんと関わる中での困り事、今後ケアマネジメントに活かしていけることなど活発に意見交換ができました。

参加者の感想には「今回の講義で身体の機能維持のために口腔ケアが大切であることを学んだ」「千秋病院での歯科の入院治療について初めて知り、今後必要な方に紹介していきたい」など多くの意見がありました。

今後も知って得する内容の研修会を開催して、地域のケアマネジャーと顔の見える関係性を築きながら知識を増やし、利用者さんに活かしていきます。

千秋病院介護保険サービスセンター　吉田　智子

岩倉介護保険サービスセンターちあき　野垣　なをみ

健友福祉会だより

ホームページ http://www.chiaki.com/fukushi

福を願って節分祭

萩原グループホームちあき

毎年恒例の節分祭を2月3日に行ないました。昼食には職員手作りの恵方巻を食べていただき、「美味しい。もう少し食べたい」と好評でした。

午後は節分にちなんで紙芝居「泣いた赤鬼」を観ました。観ている途中で駄菓子が配られると、そちらに気がいってしまう方々が多かったようです。花より団子ではないですが、みなさん甘いものが好きだなと改めて実感しました。

利用者さんと職員が扮装した鬼が登場すると、新聞紙で作ったボールを鬼に投げての厄払い。「なかなか当たらんな。当たりやすいように来てくれないかんわ」という方もいて、みなさんに笑顔で楽しんでもらいました。

今年も利用者さん、ご家族にたくさんの福がありますよう、職員一同願っています。

介護福祉士　栗本　勝幸

社会福祉法人尾張健友福祉会

ケアハウスちあき／地域交流スペース
デイサービスセンターちあき

藤が丘デイサービスセンター
介護保険サービスセンターちあき

岩倉小規模多機能ホーム・ちあき
岩倉デイサービスセンター・ちあき

特別養護老人ホーム・ちあき　第一　第二

萩原小規模多機能ホームちあき
萩原グループホームちあき

電話番号・FAX番号は５面をご覧ください。